

平成30年度生野区の取組み 中間振り返り (こどもの未来部会:抜粋分)

平成30年度生野区区政会議
第2回こどもの未来部会



平成30年10月29日(月)



目次

【 平成30年度 主な取組 】

- ・ (1 - 1) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり -----
- ・ (1 - 2) ひとりも取りこぼさない支援を -----
- ・ (2 - 1) 次世代の学校づくり(学校配置の見直し) -----
- ・ (2 - 2) 次世代の学校づくり(「生野の教育」の実現) -----
- ・ (2 - 3) 次世代の学校づくり(学校・教育コミュニティ支援) -----
- ・ (2 - 4) 「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進 -----
- ・ (3) まちの教育力を上げる ----- ②1

(1 - 1) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

取組の進捗状況

《 子育て応援イベント いくのっ子広場 》

- ・ 11月8日（木）10時～14時
生野区役所 で開催予定
- ・ 3月24日（日）予定

《 子育てに関する効果的な情報提供 》

- ・ 子ども・子育てプラザの子育て情報サイト“いくのde育～の”
を活用
アクセス数：4,300件（8月末時点）
- ・ 区長による「いくみんな子育て通信」
（毎月発行）

区予算額 1,610千円

わっはっは〜♪ と みんなでつながろう！
第5回フェスティバル

参加無料 **いくのっ子広場**

いくのっ子広場とは・・・
子育て中の方・これから子育てをする方・お孫さんがいる方・子育てを応援している方、
おななも子ども、輝きがあってもなくても、皆が楽しみながらつながりましょう！

2018
11/8 木
10:00～14:00
生野区役所 6階大会議室

みんなで作ろう!
このお祭り、お祭り
準備もみんなで作ろう!

遊ぶコーナー

食材料りゲーム

バルーンアート

つながりかっ
10:00 オープニング
10:30 親子
エアロビクス!!
11:00 紙芝居
13:00 楽器で遊ぼう!
13:30 いくみんな体操
13:50 フィナーレ

主催 「いくのっ子」総実行委員会
生野区民生活委員協議会、生野区民生活情報委員協議会、生野区産婦人科医連合会「カトレア会」、産婦人科の会
による協賛、株式会社「いくのっ子」協賛、生野区役所、生野区子育て支援センター、生野区子育て支援センター
パピーライオンズの、有価証券無効防止委員会、（任意）大塚生野地区社会福祉協議会、生野区民から「子育てプラザ」、生野区役所
主催 実行委員会

協賛 生野区民（株）、大塚生野地区ライオンズクラブ、大塚生野（株）、（株）豊興、フタバ製菓（株）、（株）和歌山製菓
（株）豊田製菓、豊田ビーンスターク（株）、ローランド製菓（株）

協賛 （一社）生野区産科、（一社）生野区産科連合会、（一社）生野区産科連合会、（一社）大塚生野地区
産婦人科生野産婦人科連合会、生野区産婦人科の会、生野区産科連合会、有価証券無効防止委員会

問い合わせ 生野区民生活委員協議会（受付時間/平日 9:00～17:30）電話 06-6715-9024 FAX 06-6715-9067

(1 - 1) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

《 生きるチカラを育む 絵本プロジェクト 》

- ・ 3か月児健診での絵本の読み聞かせを実施
- ・ 9月より1歳6か月児健診でも絵本の読み聞かせを実施
- ・ 「ワクワクがいっぱい!!
絵本PARK inいくの」
(9月22日(土))
10時～15時 開催済)



【業績目標】

- ・ 子育て応援イベント いくのっ子広場に参加した養育者について、
子どもの養育に参考になったと肯定的に感じた割合：80%以上
- ・ 子育て情報サイト“いくのde育～の”のアクセス数
：年間 6,000件以上 2 / 3

(1 - 1) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

課題など

育児不安やストレスを感じた際に相談できる相手がおらず、**孤立化の恐れ**がある。

【今後の方向性】

より多くの方に取り組みを周知するとともに、ご参加いただけるような**情報発信**を行う。



(1 - 2) ひとりも取りこぼさない支援を

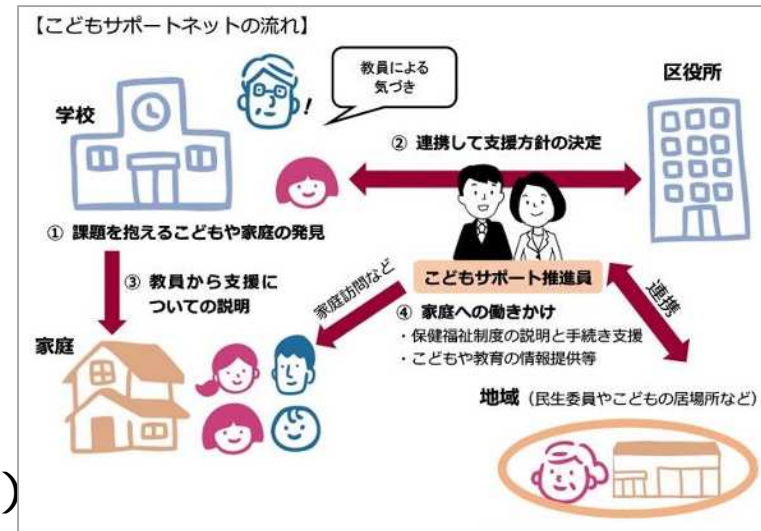
区予算額 - 千円

取組の進捗状況

・ こどもサポートネット事業 こどもの貧困対策関連の取組

学校（教育分野）と区役所（福祉分野）が連携し、こどもと子育て世代が抱える課題に対しての総合的支援

スクリーニング会議
40回開催（8月末時点）



- ・ 虐待防止に向けた啓発、関係機関・各種支援専門機関との連携強化、**虐待の早期発見から分離保護の早期対応**
要保護児童対策地域協議会会議 5回開催（8月末時点）
ケース会議 児童19回開催（8月末時点）
児童虐待防止研修会 1回開催（8月末時点）

(1 - 2) ひとりも取りこぼさない支援を

- ・ **くらしの相談窓口（生活困窮者自立支援制度）**による各種相談、就労支援
- ・ 社会的養護を要するこどもが、一人でも多く家庭と同様な養育がなされるよう、**里親制度の普及啓発**(区広報紙への掲載等)



【業績目標】

こども虐待や高齢者虐待などの専門家、支援機関、学校や保育園が参加したワークショップ（連絡会）の開催：年2回以上

(1 - 2) ひとりも取りこぼさない支援を

課題など

少子高齢化、核家族化が進む中、高齢者、障がい者、こども、ひとり親家庭、生活困窮者など**支援が必要な方に必要なサービスが確実に届く、取りこぼしのない支援が求められている。**

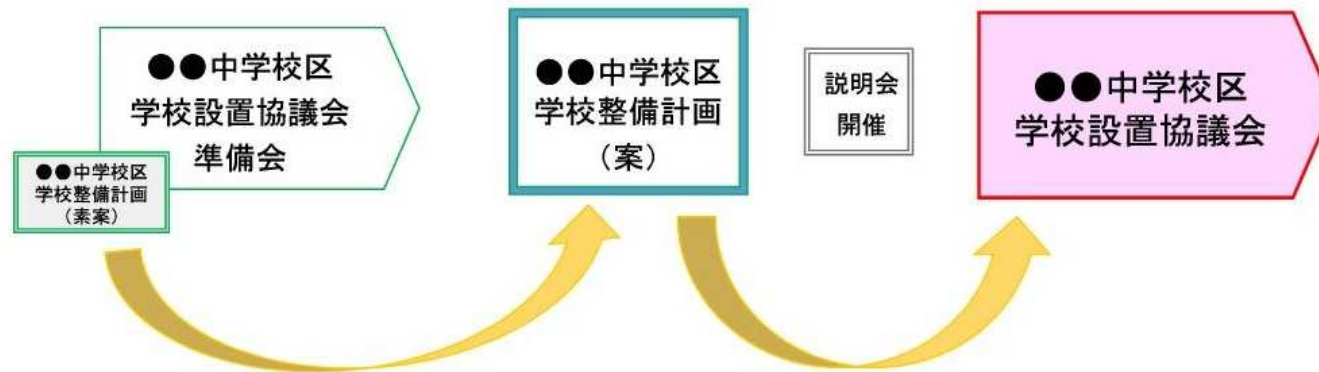
【今後の方向性】

支援を必要とするすべての人々が、一人ひとり社会とつながりを持ちながら健やかに暮らせることができるよう取組んでいく。

(2 - 1) 次世代の学校づくり (学校配置の見直し)

生野区西部地域学校再編整備計画の推進について

学校再編整備の流れ



準備会でのご意見を踏まえ素案を修正
⇒ 学校整備計画 (案) を策定

学校整備計画 (案) の策定後、説明会を開催
⇒ 再編により教育環境の改善に支障が出てくるといった
具体的な反対意見がなく、中学校区単位でご理解と
ご協力を得られる状況になれば、協議会を設置

【業績目標】

学校設置協議会の設置：4 中学校区



(2 - 1) 次世代の学校づくり (学校配置の見直し)

取組の進捗状況

- ・ 「生野中学校区 学校設置協議会準備会」 平成29年12月発足
- ・ 「生野中学校区 学校整備計画(案)」 平成30年9月策定
- 〃 説明会開催 平成30年9月24・25日

今後、「生野中学校区 学校設置協議会」の発足を目指す。

- ・ 「田島中学校区 将来の学校を考える会」 平成29年12月発足
- ・ 「田島中学校区 学校整備計画(案)」 平成30年9月策定
- 〃 説明会開催 平成30年9月22・28日

今後、「田島中学校区 学校設置協議会」の発足を目指す。

また、「勝山・鶴橋中学校区」「大池中学校区」の再編について、意見交換の場である「学校設置協議会準備会」等の設置に向け、取り組んでいきます。

(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

区予算額 732千円

取組の進捗状況

生きるチカラを育む課外授業 こどもの貧困対策関連の取組

民間事業者等を活用した大学生等による悩み相談と課外授業
基礎学力の向上と自己肯定感の醸成をはかり、「自ら学ぶ力」の定着をめざす。

対象：大池中学校 1～3年生

会場：大池中学校

実施曜日：毎週月曜日・木曜日

実施時間： 18：30～19：40

19：45～20：55

時間帯の と はどちらかを選択



(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

【業績目標】

参加者に対し、事業実施前と後にアンケートを行い、**家庭学習を「全くしない」と答える者の割合を半減する。**

【今後の方向性】

引き続き、平成31年度も事業の拡充を図る。



(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

取組の進捗状況

区予算額 176千円

民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」

生野区に在住し、大阪市立中学校に在籍する生徒（学年は問わないとする）を対象に、**学習習慣の定着、基礎学力の向上を目標**とする。

- ・ 生野中学校 毎週土曜日 (18:30~20:40)
- ・ 巽中学校 毎週水・金曜日 (18:45~19:45 19:55~20:55)
- ・ 東生野中学校 毎週火・水曜日 (18:30~19:30 19:40~20:40)

時間帯の と はどちらかを選択



(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

【業績目標】

受講者に対し、事業実施前と後にアンケートを行い、「授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか」という問いに対する回答として、「そのままにしておく」と答える生徒を半減させる。

課題など

- ・ 各教室の受講者数が、定員に達していない教室もある。
- ・ いくの塾で利用できる大阪市塾代助成事業の案内方法を検討する。

【今後の方向性】

より多くの方に受講していただけるよう**塾事業実施事業者と協働**で”いくの塾の受講者募集チラシ”の内容の検討を行うとともに、広く周知を図っていく。

(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

取組の進捗状況

区予算額 818千円

学び支援事業

児童の学力状況の把握および自主学習習慣の確立や健康・体力の保持増進を目的に、**模擬検定等の受験を学校が活用できる機会を提供する。**

- ・ 模擬検定等の外部試験 16小学校にて実施予定 (年度末見込み)
実施済み 2 校 (8 月末時点)

【業績目標】

事業実施後のアンケートにおいて、学習意欲を問う設問について肯定的な回答をする児童の割合を70%以上とする。

課題など

1 学年のみではなく2学年で実施し、**経年経過をみられるようにすべきではないか、との意見をいただいている。**

【今後の方向性】

希望校で枠を拡大して検定を実施できるよう検討する。

(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

区予算額 2,090千円

取組の進捗状況

生きるチカラまなびサポート事業 こどもの貧困対策関連の取組

「キャリア教育」や「性・生教育」を支援する「生きるチカラまなびサポーター」の登録制度を構築し、学校の要請に応じて講師を派遣する。

- ・登録講師 7名 (10月2日現在)
- ・中学校での授業 2回 (1学期)
- ・保護者、教職員向けシンポジウム 1回 (8月7日開催・74名参加)
- ・アドバイザー会議 1回



【赤ちゃんとおふれあう授業】



【保護者、教職員向けシンポジウム】

(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

【業績目標】

事業終了時のアンケートにて、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問について否定的な回答をした受講者の割合：8.0%未満

【課題と今後の方向性】

- ・登録講師の確保

アドバイザーと学校から講師情報の共有を図り、人材確保に努める。



(2 - 3) 次世代の学校づくり (学校・教育コミュニティ支援)

取組の進捗状況

区担当教育次長
予算額 3,150千円

小・中学校交流かけはし事業

児童生徒が中学校生活を楽しく過ごすためにスムーズな移行ができるよう、区が支援を行い、各中学校区における小中連携の取組をさらに充実させ、進学先の中学校の生徒や同じ中学校へ進学する他校の児童との交流促進を図る。

- ・ 小中学校の交流 (部活動・授業体験等)
3 中学校区 (8 月末時点) < 年度末見込み : 9 中学校区 >
- ・ モデル校区の取組 (年間を通じた交流)
1 中学校区 2 回 < 年度末見込み : 5 回 >
- ・ 小学校同士の交流 1 回 (8 月末時点) < 年度末見込み : 3 回 >



【部活動体験】



【小学校同士の交流】



【モデル校区(英語授業)】

(2 - 3) 次世代の学校づくり (学校・教育コミュニティ支援)

【業績目標】

異なる年齢や学校の児童や生徒と交流できてよかったと感じた参加者の割合：80%以上

【今後の方向性】

引き続き、平成31年度も事業の拡充を図る。

(2 - 3) 次世代の学校づくり (学校・教育コミュニティ支援)

取組の進捗状況

区担当教育次長
予算額 132千円

学校支援ボランティア人材バンク

- ・区において、多様な人材を発掘
- ・人材バンクへの登録



学校で活躍できる仕組みを運用

- ・学校支援ボランティアの募集：1回
(年度末見込み：2回)
- ・基礎研修の実施：1回
(年度末見込み：3回)
- ・学校支援ボランティア登録：年2回
- ・区内公立小・中学校への登録者の人材情報の提供：1回実施
- ・登録者数45人(8月末現在)
5校11人が活動



(ボランティアの様子)

(2 - 3) 次世代の学校づくり (学校・教育コミュニティ支援)

【業績目標】

学校で活動する学校支援ボランティア：年間のべ 17人以上

【今後の方向性】

より多くのボランティアが活動する状態には、**人材確保が重要であり、募集方法を検討する必要がある。**

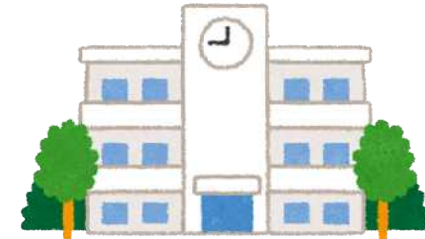
大学等にボランティア募集のポスター掲示の依頼を行う。
教員採用試験での加点制度の対象であることを周知する。

(2 - 4) 「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進

取組の進捗状況

分権型教育行政の効果的な推進

・ 区長を教育委員会事務局における区担当教育次長として位置付け分権型教育行政を進めることにより、区内の教育行政を推進する。



- ・ 教育行政連絡会 1回（8月末時点）＜年度末見込み：3回＞
- ・ 教育保育連絡会 1回（8月末時点）＜年度末見込み：2回＞

【業績目標】

- ・ 自校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校長の割合：30%
- ・ 委員を務める学校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校の学校協議会委員の割合：30%
- ・ 学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「保護者・区民等の参画のための会議」の委員の割合：30%

(3) まちの教育力を上げる

取組の進捗状況

区予算額 2,074千円

英語でプログラミング体験事業

- ・ 小学5年生～中学3年生までを対象に、「プログラミング」をテーマに英語を使ってチームで一つのものを創り上げ、**課題を解決する喜びと英語の楽しさを感じてもらう体験事業を実施。**
- ・ 実施期間：7月31日（火）～8月4日（土）の5日間の連続講座
- ・ 参加者数：46名（小学生：31名、中学生：15名）



(3) まちの教育力を上げる

【業績目標】

事業の参加者にアンケートを実施し、「今回体験したことは、今後、積極的に活かせると思いますか」という問いに対し、肯定的な回答をした割合：70%以上

課題など

今後「英語」も「プログラミング」も重要な分野になるとの視点から事業を実施したが、平成30年4月から小学校で英語教育の義務化がスタート、また、平成32年から小学校でのプログラミング教育の必修化が行われることから、重複する事業の整理が必要。

【今後の方向性】

平成31年度に向けて、事業の廃止を検討する。

(3) まちの教育力を上げる

取組の進捗状況

区予算額 1,289千円

生涯学習の推進

区内19校下に生涯学習ルームを開設することにより、区民の生涯学習活動を支援するとともに、学びの成果を地域行事等で還元できるように支援し、**地域における多世代交流を促進**する。

- 生涯学習ルームの開設
19校下
- 生涯学習推進員連絡会の開催
4回（8月末時点）
- 生涯学習フェスティバル
31年3月3日開催予定



(3) まちの教育力を上げる

【業績目標】

区の生涯学習事業で学んだ内容を、地域行事等で活かせる機会があると答えた事業参加者の割合：60%以上

【今後の方向性】

平成30年12月実施予定のアンケート結果を踏まえ、対応策を検討する。

